

地球温暖化についての事業者意識調査

区内事業者の皆様には、平素から板橋区の環境行政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

区では、平成24年度に策定した「板橋区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の計画期間(平成25年度～令和2年度)の満了を来年度末に控え、新たな計画の策定を行うこととなりました。

計画の策定に当たっては、区民や事業者の皆様には地球温暖化についての意識調査を行い、計画に反映していきたいと考えております。

この調査の対象者は、区内事業所から無作為に500事業所を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。

大変お手数ですが、このアンケートの目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月

板橋区長 坂本 健

【ご記入に当たってのお願い】

1. 宛名の事業所の方がご回答ください。

注1：支社や出先事務所等に本調査票が届いた場合、本社や会社全体ではなく、貴事業所のこととしてご回答願います。

注2：無記名ですので、事業者名・住所の記入の必要はありません。

2. 次の要領でご回答ください。

- アンケート調査票に直接ご記入ください。
- ボールペンや濃い鉛筆などではっきりとご記入ください。
- 選択回答の場合は、あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。
- 回答の○の数は(○は1つだけ)(○は3つまで)などのように指定していますのでそれに合わせてください。
- 質問は、1ページから順に最後までお答えください。
(15分程度で回答できます。)

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和元年11月27日(水)まで**にご投函ください。

◎返信用封筒に事業者名・住所をご記入いただく必要はありません。

◎ご返送いただいた調査票は、調査終了後に区が責任をもって廃棄いたします。

【お問い合わせ先】板橋区 資源環境部 環境政策課 脱炭素社会推進係

電話：03-3579-2622 (山崎、岩永、渡邊)
(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時)

【調査委託先】 エヌエス環境株式会社 技術本部 技術部

電話：03-5405-1241 (高草、鈴木)

貴事業所について

問1 貴事業所の事業形態を教えてください。(〇は1つ)

- | | | | |
|------------|-------|-------|------------|
| 1. 事務所 | 2. 店舗 | 3. 工場 | 4. 学校、専門学校 |
| 5. その他 () | | | |

問2 貴事業所の業種を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------------------|-----------------|------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 |
| 4. 製造業 | 5. 電気・ガス・熱供給業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業、郵便業 | 8. 卸売業、小売業 | 9. 金融業、保険業 |
| 10. 不動産業、物品賃貸業 | | |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 | |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 教育、学習支援業 | |
| 15. 医療、介護、福祉 | 16. 複合サービス事業 | |
| 17. サービス業 (他に分類されないもの) | | |
| 18. その他 () | | |

問3 貴事業所の従業員数 (パート、アルバイトなどを含む) を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------|-------------|
| 1. 1~4人 | 2. 5~9人 | 3. 10~19人 |
| 4. 20~29人 | 5. 30~99人 | 6. 100~199人 |
| 7. 200人以上 () | | |

問4 貴事業所の建物の所有形態を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|---------|-------|
| 1. 自社所有 | 2. 賃貸 |
|---------|-------|

問5 貴事業所の建物の延床面積を教えてください。(〇は1つ)

注) テナントとして賃借している場合は、賃借スペースの延床面積を教えてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ~50㎡未満 | 2. 50㎡~100㎡未満 |
| 3. 100㎡~300㎡未満 | 4. 300㎡~500㎡未満 |
| 5. 500㎡~1,000㎡未満 | 6. 1,000㎡~3,000㎡未満 |
| 7. 3,000㎡以上 | |

貴事業所での取り組み状況

問6 貴事業所で現在取り組まれている身近な地球温暖化対策や省エネルギー活動を教えてください。(項目ごとに○は1つ)

注) 該当する機器や自動車を保有していない場合は「4 (該当しない)」に○をつけてください。



※このマークの詳細はP15の「SDGsとは」をご覧ください。

	取り組み内容 [項目]	はい	ときどき	いいえ	該当しない
①	夏期におけるクールビズを実行している	1	2	3	/
②	省エネ機器を積極的に導入している	1	2	3	/
③	間引き消灯や昼休み一斉消灯などをしている	1	2	3	/
④	冷暖房の効きすぎがないように、エアコンの設定温度を調整している	1	2	3	4
⑤	高効率照明器具 (LED 等) を導入している	1	2	3	/
⑥	建物・作業所の断熱強化や日射遮蔽によって、冷房効率を高めている	1	2	3	4
⑦	空調機器などの定期的なメンテナンスを行っている	1	2	3	4
⑧	事務機器類の不使用时における電源オフを徹底している	1	2	3	/
⑨	低燃費車への変更を行っている	1	2	3	4
⑩	自家用車での出勤を控える日 (ノーマイカーデー) を設定している	1	2	3	4
⑪	エコドライブをしている (急発進・急加速をしない)	1	2	3	4
⑫	アイドリングストップ (自動車の停止中にエンジンを止めること) をしている	1	2	3	4
⑬	公共交通機関や自転車の利用促進を図っている	1	2	3	/
⑭	燃料 (電気、ガソリンなど) 削減目標の設定を行っている	1	2	3	/

問7 貴事業所において、地球温暖化対策のために、問6の取り組みから更に踏み込んだ実施を検討している取り組みについて教えてください。(項目ごとに〇は1つ)



	取り組み内容 [項目]	導入済み	導入検討中 (予定も含む)	導入予定はない が関心はある	導入予定はなく 関心もない
①	環境保全に関する計画やガイドラインの策定	1	2	3	4
②	事業活動に伴い発生する環境問題に対応するための専門組織の設置	1	2	3	4
③	社員研修などの実施による省エネや省資源対策の啓発	1	2	3	4
④	施設における「緑のカーテン」※1の導入	1	2	3	4
⑤	エネルギー管理の推進 (省エネナビの使用や、エネルギー使用量やCO ₂ 排出量の記録など)	1	2	3	4
⑥	環境マネジメントシステム※2 (ISO14001 など) の導入	1	2	3	4
⑦	CSR レポート※3 (ISO26000 など) の公開	1	2	3	4
⑧	ESG レポート※4 の公開	1	2	3	4
⑨	RE100※5 プロジェクトへの加盟	1	2	3	4
⑩	省エネ診断による改善・改修	1	2	3	4
⑪	ESCO※6 事業の導入	1	2	3	4
⑫	ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS※7) の導入	1	2	3	4
⑬	環境に配慮した製品・サービスの開発・提供 (環境ビジネス)	1	2	3	4
⑭	自社製品への省エネラベリング制度※8 の適用	1	2	3	4
⑮	国際エネルギースター製品※9 の購入の推進	1	2	3	4
⑯	グリーン購入※10 の推進	1	2	3	4
⑰	グリーン電力制度※11 の導入	1	2	3	4
⑱	デマンドメーター※12 の導入	1	2	3	4
その他にも貴事業所で取り組まれている活動がございましたらご記入ください ()					

※1 建物の壁を植物で覆うことで、建物の温度上昇を抑える取り組み。
 ※2 事業者が自主的に環境保全に取り組むための体制・手続きの仕組み。国際規格の「ISO14001」や、環境省が作成した「エコアクション21 (EA21)」、板橋区が独自に作成した「板橋エコアクション (IEA)」などがある。
 ※3 企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) の略語である。社会的な取り組みをまとめた報告書のこと。また、社会的責任は企業のみではなく、より包括的なものであるという議論を経て、団体すべてが対象となった国際規格 ISO26000 が発効された。

- ※4 財務情報だけではなく、企業の環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）に関する取り組みも考慮した報告書のこと
- ※5 事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際的な団体で、「Renewable Energy 100%」の略称
- ※6 省エネルギーの提案、設備の提供、維持・管理などの包括的サービスにより、施設の省エネルギーを図ること。
- ※7 ビル・エネルギー・マネジメント・システムの略で、ビルや工場のエネルギー設備全体を一元的に監視・制御し、省エネルギー化を図るためのシステム。
- ※8 JIS規格の表示制度で、エネルギー消費機器の省エネ性能を示す。
- ※9 「国際エネルギースターロゴ」が使用された、省エネルギータイプのオフィス機器として認定されている製品。世界で6つの国・地域で実施されている。
- ※10 製品やサービスを購入する際に、環境への負荷が少ないものを選んで購入すること。
- ※11 「グリーン電力証書」とよばれる証書を購入することで、再生可能エネルギーによって発電した電力を消費しているとみなす制度。
- ※12 消費する電力を予測・監視し、見える化した装置。電力需要の低下により、節電や電気料金の削減が期待できる。

問8 貴事業所では、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備

※を利用していますか。(〇は1つ)

※詳細はページ下の図および用語解説をご参照ください。



1. 利用している 【下記の問にお答えください。その後、問9にお進みください】



問8-1 利用している理由は何ですか。(〇はいくつでも)

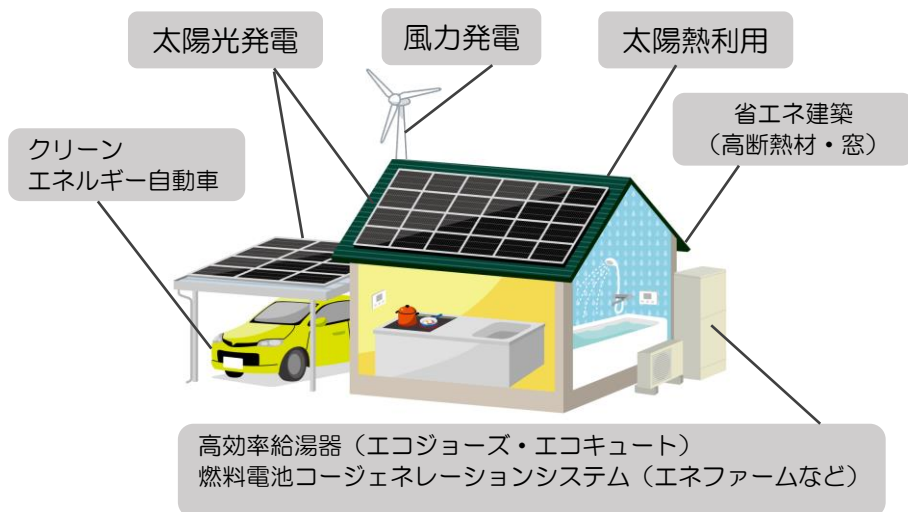
1. 地球温暖化対策に有効だから
2. コストや効率化が期待できるから
3. 補助金や税の控除があるから
4. イメージやブランド力が向上するから
5. 法令等の規制に対応する必要があったから
6. その他 ()

2. 利用していない【下記の問にお答えください。その後、問9にお進みください】



問8-2 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 関心がないから
2. 内容を十分に知らないから
3. 効果が低いから
4. 費用が高いから
5. 維持管理が面倒だから
6. 建物の所有権がないから
7. その他 ()



用語解説

- ・ 高効率給湯器
より少ないエネルギーでお湯を作ることができる給湯器です。(家庭用設備は「エコジョーズ」や「エコキュート」などと呼ばれています。)
- ・ コージェネレーションシステム
発電機で「電気」を作るときに発生する「熱」も同時に利用して給湯や暖房に使うシステムです。
- ・ 燃料電池
「水素」と「酸素」を化学反応させて、直接「電気」を発電する装置です。

図 再生可能エネルギー設備、省エネルギー設備などのイメージ

問9 貴事業所での再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などの利用状況、または今後の意向について教えてください。(項目ごとに○は1つ)



	設備などの種類 [項目]	導入済み	導入検討中 (予定も含む)	導入予定はないが 関心はある	導入予定はなく 関心もない
①	太陽光発電	1	2	3	4
②	太陽熱利用	1	2	3	4
③	中小規模水力発電	1	2	3	4
④	温度差熱利用(地中熱利用※1など)	1	2	3	4
⑤	天然ガスコージェネレーションシステム	1	2	3	4
⑥	高効率ヒートポンプ	1	2	3	4
⑦	バイオマス発電※2	1	2	3	4
⑧	バイオマス熱利用※3	1	2	3	4
⑨	高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズなど)	1	2	3	4
⑩	燃料電池(エネファームなど)	1	2	3	4
⑪	クリーンエネルギー自動車の導入 (電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車など)	1	2	3	4
⑫	雨水利用(雨水貯留タンク・雨水浸透ます)	1	2	3	4
⑬	断熱フィルム、二重ガラス、塗料、散水などによる建物の空調負荷低減化	1	2	3	4
⑭	BEMS※4 (ビルエネルギーマネジメントシステム)	1	2	3	4

※1 夏場や冬場に生じる気温と河川や地下水の水温との温度差を、ヒートポンプを用いて利用したエネルギー

※2 植物などの生物資源を燃焼・ガス化することにより行う発電方法

※3 植物などの生物資源の燃焼・ガス化により発生した熱を利用すること

※4 ビル内の配電設備、空調設備、照明設備、換気設備、OA 機器等の電力使用量のモニターや制御を行うためのシステム

問10 貴事業所では電力会社の変更、もしくは変更の検討をしたことがありますか。(〇は1つ)



1. 変更した
2. 変更を検討している
3. 変更を検討したが変更していない
4. 検討していない

問11 (問10で電力会社を「変更した」「変更を検討している」「変更を検討したが変更していない」と回答した方) 電力会社の変更もしくは変更の検討にあたり、もっとも重視したことは何ですか。(〇は1つ)



1. CO₂排出量の少ない電気を供給しているか
2. 再生可能エネルギー由来の電気であるか
3. 地産地消(地域で生産された電気をその地域で消費)をしているか
4. 料金が安くなるか
5. セット割引があるか
6. その他()

問12 貴事業所が省エネをしようとする際に、障害となっていることは何ですか。(〇は1つ)



1. 初期投資などで費用がかかる
2. 事業収益にプラスになると思えない
3. 時間や手間がかかり利便性が失われる
4. 顧客に我慢を強いてサービスの低下になる
5. 環境教育や啓発をする余裕がない
6. 何をすべきかわからない

問13 平成25(2013)年度以降、貴事業所が省エネ機器を導入した際、国・東京都・板橋区などからの補助金制度を利用したことはありますか。(〇は1つ)



1. 利用したことがある
2. 利用したことがない(知らなかったため、今後検討したい)
3. 利用したことがない(補助金額が少ないため)
4. 利用したことがない(対象の機器がなかったため)

問 1 4 今年の冬においても、節電の取り組みを続けますか。

(〇は1つ)



1. 昨年以上、節電に取り組む
2. 昨年通り、節電に取り組む
3. 昨年ほどではないが節電に取り組む
4. 節電には取り組まない
5. わからない

問 1 5 貴事業所で今後も積極的に節電や地球温暖化対策に取り組んだ場合、現在と比べて5年後に、電気・ガス・ガソリンなどのエネルギー全体をどの程度削減できるか、根拠がなくても結構ですので、直感でお答えください。(〇は1つ)



1. 25%以上の削減は可能
2. 15%程度は可能かもしれない
3. 現在とほとんど変わらない
4. むしろ増加するかもしれない
5. わからない
6. その他 ()

問 1 6 環境マネジメントシステム* (ISO14001、EA21、板橋区が独自に運営している環境マネジメントシステムである「板橋エコアクション (IEA)」) について貴業所の取り組みを聞かせてください。(〇は1つ)



1. ISO14001、EA21、IEA のいずれかに参加している
2. ISO14001、EA21、IEA のいずれかは知っており、今後取り組む
3. ISO14001、EA21、IEA のいずれかは知っているが、今後取り組まない
4. ISO14001、EA21、IEA のいずれも知らないが、今後取り組む
5. ISO14001、EA21、IEA のいずれも知らず今後取り組まない

※ 自治体や企業などの組織が、その活動から生じる環境への影響を、自主的・継続的に改善していくための経営方法や仕組み。国際標準化機構が発行している国際規格「ISO14001」や、環境省が作成した「エコアクション21 (EA21)」、板橋区が独自に作成した「板橋エコアクション (IEA)」などがある。

地球温暖化（気候変動）の対策：緩和と適応

問 17 地球温暖化の対策として、温室効果ガスの排出削減と吸収を行うことを「緩和」、温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」と言いますが、貴事業所ではこの「緩和」、「適応」という言葉の意味を知っていましたか。(〇は1つ)



1. 「緩和」も「適応」も知っている
2. 「緩和」のみ知っている
3. 「適応」のみ知っている
4. 両方とも知らない

【緩和とは？ 適応とは？】

地球温暖化対策として、省エネの取り組みや、再生可能エネルギーなどの低炭素エネルギー、発生するCO₂の回収・貯留技術の普及、植物によるCO₂の吸収源対策などが取り組まれています。このように、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行うことを「緩和」といいます。

また、近年、世界各地で気温の上昇などが起こり、異常気象や自然災害の発生などの気候変動の影響が現れています。気候変動は、私たちの食べる物やみなさんの健康にも様々な影響を与え、その影響は今後さらにひどくなっていくかもしれません。こうした気候変動の影響に対処し、被害を少なくすることを「適応」といいます。

緩和とは？ 適応とは？



人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。

緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくことが適応です。

問 18 地球温暖化による気候変動（猛暑や局地的大雨などの、極端な気象現象の増加など）についてうかがいます。貴事業所は、次の気候変動による影響について、どのように感じていますか。（項目ごとに〇は1つ）



	影響の種類 [項目]	が あ る と も 実 感	あ る 程 度 実 感	な い ど ち ら で も	あ ま り 実 感 が な い	ま っ た く 実 感 が な い
①	気温の上昇による熱中症の増加などの影響	1	2	3	4	5
②	猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響	1	2	3	4	5
③	デング熱をはじめとする感染症の増加などの影響	1	2	3	4	5
④	農作物の収穫量減少などによる食料生産への影響	1	2	3	4	5
⑤	いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響	1	2	3	4	5
⑥	台風の大型化などによる影響	1	2	3	4	5
⑦	絶滅危惧種の増加などによる生態系への影響	1	2	3	4	5
⑧	夏場の渇水や断水などによる水資源への影響	1	2	3	4	5
⑨	暴風などによる停電の影響	1	2	3	4	5
⑩	北極等の氷の融解による海面上昇の影響	1	2	3	4	5
⑪	過耕作、過開拓、森林減少などによる干ばつや砂漠化の影響	1	2	3	4	5

問 19 地球温暖化（気候変動）に伴う影響に対処するために区が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。（〇は3つまで）



1. 自然災害（洪水、土砂崩れ）
2. 健康（熱中症、感染症）
3. 水環境・水資源（濁水、水質保全）
4. 農業・水産業（食糧の供給）
5. 区民生活全般（家屋、交通、ヒートアイランド）
6. 産業・経済活動（技術開発・観光産業）
7. 自然生態系（生物多様性の確保）
8. その他（）

パリ協定について

問 20 平成 27（2015）年に採択された気候変動問題に関する、国際的な枠組みである「パリ協定」をご存知ですか。（〇は1つ）

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

問 21 「パリ協定」の長期目標では、「21 世紀後半には、温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量の均衡を達成する」こととされています。貴事業所は、この目標の達成に向けて取り組むかどうか。理由もあわせてお答えください。（〇は1つ）

1. 取り組む
その理由（）
2. 取り組まない
その理由（）

【パリ協定とは】

令和2（2020）年以降の気候変動問題に関する、国際的な枠組みで、平成27（2015）年12月に、第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）が開催されたパリにて採択されました。1997年に定められた「京都議定書」の後継となるものです。パリ協定では、世界共通の長期目標を以下のように掲げています。

① 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする

② できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる

日本では、中期目標として、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することが目標として定められています。主要国の約束草案（温室効果ガスの排出削減目標）に示された各国の比較は以下の表になります。

国名	1990年比	2005年比	2013年比
日本	▲18.0%	▲25.4%	▲26.0% (2030年までに)
米国	▲14~16%	▲26~28% (2025年までに)	▲18~21%
EU	▲40% (2030年までに)	▲35%	▲24%
中国	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに2005年比でGDP当たりの二酸化炭素排出を60~65%削減 2030年頃に二酸化炭素排出のピークを達成 		
韓国	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに、対策を講じなかった場合の2030年比で37%削減 		

※日本は2013年基準の数値、米国は2005年基準の数値、EUは1990年基準の数値を削減目標としている。

※令和元年9月23日にあった気候行動サミットでは、2030年の削減目標に向けて、2020年までに更新することになっているが、70か国が目標の上積みを約束し、日本は上積みを約束していない。

※米国はパリ協定離脱を発表しており、離脱時期は早くて令和2(2020)年11月4日となっている。(令和元年11月現在)

表の出典：経済産業省

SDGsについて

問 2 2 平成 27 (2015) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」をご存知ですか。(〇は1つ)

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

問 2 3 SDGsには下記の 17 の目標が定められていますが、貴事業所がこの中で関心の
あるものはなんですか。(〇は3つまで)

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基礎をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任、つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナースhipで目標を達成しよう
18. 特になし

問 2 4 地球温暖化対策のうち、SDGsに示される 17 の目標に関連し、貴事業所では何か具体的な行動・取り組みを行っていますか。すでに取り組んでいる場合は、
取り組み内容及び関連すると思われる目標をお答えください。

※関連する目標は上記の設問における番号をご記入ください。(〇は1つ)

1. すでに行っている 関連する目標 ()
取り組み内容 ()
2. 今後行う予定である
3. 今後とも行う予定はない

問 2 5 地球温暖化対策のうち、SDGsの目標に関連する取り組みを実施するにあたり、
支障となる事柄はなんですか。(〇は3つまで)

1. 何に取り組むべきかわからない
2. 取り組みに必要な人手・費用が確保できない
3. 社内の理解が得にくい
4. 取り組んだ成果がわかりづらい
5. 行政などからの支援が少ない
6. その他 ()

【SDGs とは】

平成 27（2015）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 の目標です。地球上の誰一人として取り残さないことを誓っていて、日本としても積極的に取り組んでいます。また、環境先進都市として SDGs を見据えた取り組みを板橋区は推進していきます。



板橋区に期待する取り組み

問 2 6 地球温暖化対策と SDGs の達成を同時に取り組んでいくためには、板橋区ではどのような方策が重要だと思いますか。(〇は5つまで)



総合的な施策	1. 地球温暖化防止に関する計画による総合的な対策の推進
脱炭素まちづくり	2. 公共交通機関（鉄道やバスなど）の利用促進事業 3. 省エネルギー型街路灯（ソーラーLED 街路灯など）の設置 4. TDM（交通需要マネジメント）※1 の検討 5. エネルギーの面的利用※2 の推進（建物間における排熱の融通） 6. スマートシティ※3 の推進
廃棄物・リサイクル	7. ごみの減量、リサイクルの推進
緑化の推進	8. 植樹や樹木の保全などによる緑化の推進 9. 緑のカーテン、屋上緑化の導入 10. 校庭の芝生化（ヒートアイランド※4 対策）
情報提供・普及啓発	11. 工場・事業所等の省エネルギー・温暖化防止技術の交流促進支援
支援制度	12. 温暖化防止などの活動に取り組む団体の活動支援 13. 区民・事業者等の協働による温暖化防止の取り組みの実施 14. 環境ビジネス・環境産業の推進支援 15. 板橋エコアクションの推進 16. 事業者による環境マネジメントシステム(ISO14001、EA21 など) の認証取得支援 17. 再生可能エネルギー・省エネルギー設備・機器の導入支援
環境教育	18. 地域、エコポリスセンター、小中学校・幼稚園などとの連携による環境教育・環境学習の推進
区の率先行動	19. 公共施設における再生可能エネルギー・省エネルギー設備・機器の率先導入 20. 災害に強いまちづくりの推進
その他	21. その他()

※1 自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変容を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取り組み。

※2 施設単位ではなく、複数の施設が協力し、効率よくエネルギーを利用すること。

※3 建物や公共交通機関などの社会インフラに対し、ICTなどを活用してエネルギーの利用を総合的に管理・制御し、エネルギーを効率的・安定的に利用できるようにしたまちの姿

※4 都市部において郊外部よりも気温が高くなる現象。

問 2 7 地球温暖化対策について、どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。

(〇は3つまで)



1. テレビ
2. 新聞
3. インターネット
4. ラジオ
5. ソーシャルネットワークサービス (SNS)
6. 書籍・雑誌
7. 区の広報紙 (広報いたばし等)・ホームページ
8. 国や都の広報紙・ホームページ
9. メールマガジン
10. シンポジウム・講演会・社会教育事業
11. その他 ()

さいごに

問 2 8 本アンケートの回答を通して、地球温暖化対策について貴事業所の感想を聞かせてください。(〇は1つ)

1. 現在行っている地球温暖化対策以外にも取り組めることがわかったので、もっと取り組みを広げたい
2. 地球温暖化対策の大切さを改めて理解することができたので、引き続き現在行っている取り組みを続けたい
3. 今回のアンケートを契機に、地球温暖化対策の取り組みを始めたい
4. 今回のアンケートによって、地球温暖化対策の大切さがわかった
5. 地球温暖化対策は必要ない (その理由)

====地球温暖化対策についてのご意見をご自由にお書きください。====

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。